



## 2022年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年5月11日

上場会社名 ダイナパック株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 3947 URL <https://www.dynapac-gr.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 光次  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 篠岡 尚久 TEL (052) 971-2651  
 四半期報告書提出予定日 2022年5月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年12月期第1四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	12,994	0.6	△51	—	288	△37.1	129	△50.1
2021年12月期第1四半期	12,916	3.1	97	—	458	940.3	259	—

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 683百万円 (143.1%) 2021年12月期第1四半期 281百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	13.04	13.03
2021年12月期第1四半期	26.17	26.15

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第1四半期	66,336	39,367	59.2
2021年12月期	66,192	39,176	59.1

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 39,300百万円 2021年12月期 39,111百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2022年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	27,500	1.0	50	△90.7	400	△61.7	300	△60.7	30.31
通期	56,500	0.4	1,000	△17.8	1,450	△27.4	1,000	△28.4	101.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料の8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」に記載のとおりであります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期1Q	10,322,591株	2021年12月期	10,322,591株
② 期末自己株式数	2022年12月期1Q	405,230株	2021年12月期	405,082株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期1Q	9,917,435株	2021年12月期1Q	9,903,552株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記の業績予想に関する事項につきましては添付資料の3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照願います。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。

これにともない、当第1四半期連結累計期間と会計処理が異なることから、当第1四半期連結累計期間における経営成績に関する説明において、前第1四半期連結累計期間と比較しての増減額および前年同期比を記載せずに説明しております。

詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」に記載のとおりであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、国内経済では、オミクロン株の感染急拡大で経済活動に制約を受け、日本を含む世界経済では、2021年からの原材料価格やエネルギーコストの上昇、供給網の混乱に加え、ロシア・ウクライナ情勢に起因する原油価格や為替相場の急激な変動など、これまでも増して不透明な状況で推移しました。

このような状況下、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は129億94百万円（前年同期は129億16百万円）、営業損失51百万円（前年同期は営業利益97百万円）、経常利益2億88百万円（前年同期は4億58百万円）および親会社株主に帰属する四半期純利益1億29百万円（前年同期は2億59百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

#### 包装材関連事業

段ボールの国内生産動向は、1－3月累計数量（速報値）では前年比100.5%と、青果物向けでは減少があったものの、電気器具・機械器具用や加工食品で増加し、全体では前年並みで推移しました。

このような環境下、当社グループの国内販売数量は、段ボールケースでは最大の需要分野である食料品分野においては前年から伸長したものの、青果物で前年から減少したほか、採算性を重視した顧客ポートフォリオの見直しなどにより、前年比99.2%となりました。段ボールシートでは比較的堅調に推移し、前年比100.3%となりました。

収益面においては、軟包装事業での製品値上げ効果や印刷紙器事業での増益などの利益を押し上げる要因もありましたが、動力費、燃料費の上昇や主力の段ボール事業において2月からの段ボール原紙の値上りの先行負担が生じたことにより、減益となりました。

なお、国内では、段ボール原紙の値上りや動力費、燃料費などの上昇を受け、4月からの段ボール製品の価格改定を進めております。

海外事業では、前年から取り組んでいる製品値上げの効果により回復の兆しがみえてきましたが、顧客の部品調達の混乱による影響は継続しており、厳しい状況で推移しました。

以上により、包装材関連事業の売上高は137億71百万円（前年同期は136億61百万円）、セグメント損失（営業損失）は62百万円（前年同期はセグメント利益1億21百万円）となりました。

### ② 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は89百万円（前年同期は98百万円）、セグメント利益（営業利益）は74百万円（前年同期は81百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億44百万円増加し663億36百万円となりました。これは、主に前連結会計年度末に比べ、売上債権が減少した一方で現金及び預金および棚卸資産が増加したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ46百万円減少し269億69百万円となりました。これは、主に短期借入金が増加などがあった一方で、法人税の確定納付による未払法人税等の減少などがあり減少したものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1億90百万円増加し393億67百万円となりました。これは、主に配当金の支払などによる減少があった一方で、特定の銘柄の時価の上昇にともなうその他有価証券評価差額金の増加などの増加要因があり、増加したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の日本経済は、まん延防止等重点措置の解除など経済活動が正常化に向かうなか、サービス消費を中心に持ち直していくことが期待され、世界経済においても回復基調で推移すると見込まれていますが、ウクライナ情勢の影響や、中国のコロナ対策での経済活動の抑制による下振れリスクに注意する必要があります。

このような環境下において、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大で落ち込んだ需要の回復期を次なる成長に向けた準備をする期間と捉えた2021年から2023年の3ヶ年を対象とする中期経営計画のもと、構造改革による「収益力強化」、海外事業の「持続的成長」、新たな日常への「変化対応力強化」の3つの重点課題を推進し、収益体質への転換を確実にするとともに、さらにその先の成長に向けた取り組みを進めてまいります。

なお、2022年3月8日に公表しました連結業績予想および配当予想は修正しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,263,667	3,901,157
受取手形及び売掛金	16,413,669	14,865,011
商品及び製品	990,820	1,018,160
仕掛品	331,655	360,079
原材料及び貯蔵品	1,830,262	2,349,441
その他	584,946	679,528
貸倒引当金	△5,012	△5,972
流動資産合計	23,410,010	23,167,405
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,284,670	18,478,346
減価償却累計額	△12,871,769	△13,090,485
建物及び構築物(純額)	5,412,901	5,387,861
機械装置及び運搬具	28,824,586	28,696,757
減価償却累計額	△23,727,841	△23,718,970
機械装置及び運搬具(純額)	5,096,745	4,977,786
土地	9,204,921	9,275,990
その他	4,311,489	4,485,936
減価償却累計額	△3,009,876	△3,093,444
その他(純額)	1,301,612	1,392,491
有形固定資産合計	21,016,179	21,034,130
無形固定資産		
のれん	428,945	413,626
その他	262,009	267,054
無形固定資産合計	690,955	680,680
投資その他の資産		
投資有価証券	20,023,415	20,318,032
繰延税金資産	85,913	109,361
その他	993,967	1,055,322
貸倒引当金	△28,142	△28,142
投資その他の資産合計	21,075,154	21,454,574
固定資産合計	42,782,289	43,169,385
資産合計	66,192,299	66,336,791

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,516,715	11,784,271
電子記録債務	3,204,437	2,923,566
短期借入金	145,300	561,126
1年内返済予定の長期借入金	293,300	299,944
未払法人税等	537,329	168,650
賞与引当金	265,117	545,049
その他	3,074,932	2,587,258
流動負債合計	19,037,133	18,869,866
固定負債		
長期借入金	395,223	356,624
繰延税金負債	4,280,218	4,385,120
退職給付に係る負債	2,359,339	2,375,330
その他	944,119	982,643
固定負債合計	7,978,901	8,099,718
負債合計	27,016,034	26,969,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,000,000	4,000,000
資本剰余金	16,986,679	16,986,679
利益剰余金	10,286,605	9,923,176
自己株式	△893,500	△893,690
株主資本合計	30,379,784	30,016,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,563,027	8,798,231
為替換算調整勘定	210,618	521,003
退職給付に係る調整累計額	△41,553	△34,898
その他の包括利益累計額合計	8,732,091	9,284,336
新株予約権	8,370	8,370
非支配株主持分	56,018	58,333
純資産合計	39,176,265	39,367,206
負債純資産合計	66,192,299	66,336,791

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上高	12,916,038	12,994,028
売上原価	10,721,279	11,004,678
売上総利益	2,194,759	1,989,349
販売費及び一般管理費	2,097,134	2,040,786
営業利益又は営業損失(△)	97,624	△51,436
営業外収益		
受取利息	5,607	9,784
受取配当金	169,901	174,772
為替差益	127,857	121,825
雑収入	78,998	45,842
営業外収益合計	382,365	352,224
営業外費用		
支払利息	6,229	5,801
持分法による投資損失	411	511
固定資産除却損	5,331	182
雑損失	9,210	5,494
営業外費用合計	21,183	11,989
経常利益	458,805	288,798
税金等調整前四半期純利益	458,805	288,798
法人税、住民税及び事業税	242,868	162,905
法人税等調整額	△43,860	△5,816
法人税等合計	199,007	157,088
四半期純利益	259,797	131,709
非支配株主に帰属する四半期純利益	668	2,399
親会社株主に帰属する四半期純利益	259,129	129,309



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益	259,797	131,709
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△257,879	235,134
為替換算調整勘定	269,218	310,385
退職給付に係る調整額	10,166	6,654
その他の包括利益合計	21,506	552,175
四半期包括利益	281,304	683,885
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	280,560	681,554
非支配株主に係る四半期包括利益	743	2,330

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、主として当社が顧客より有償にて原材料等の支給を受けそれを加工して当該顧客に販売する取引については、従来その販売額には有償受給額を含めて収益として認識しておりましたが、当該受給額を収益として認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は391,851千円減少し、売上原価は390,950千円減少し、営業損失は901千円増加し、営業外費用は506千円減少し、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ395千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は2,121千円減少しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。(以下「時価算定会計基準」という。))等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19号および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	包装材関連事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	12,827,124	88,914	12,916,038	—	12,916,038
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	834,769	9,180	843,949	△843,949	—
計	13,661,894	98,094	13,759,988	△843,949	12,916,038
セグメント利益	121,646	81,881	203,527	△105,903	97,624

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△105,903千円には、主に事業セグメント間取引消去4,670千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△109,241千円および未実現利益消去△210千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- 2 包装材関連事業におけるセグメント間の内部売上高又は振替高は、包装材関連事業内における事業セグメント間の取引であります。
- 3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	包装材関連事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	12,913,591	80,436	12,994,028	—	12,994,028
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	857,846	9,180	867,026	△867,026	—
計	13,771,437	89,616	13,861,054	△867,026	12,994,028
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△62,050	74,157	12,106	△63,543	△51,436

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△63,543千円には、主に事業セグメント間取引消去5,728千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△66,487千円および未実現利益消去△1,301千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- 2 包装材関連事業におけるセグメント間の内部売上高又は振替高は、包装材関連事業内における事業セグメント間の取引であります。
- 3 セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
- 4 (会計方針の変更)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「包装材関連事業」の売上高が391,851千円減少し、セグメント損失が901千円増加しております。